

【誘導灯・非常灯の寿命】

適正交換時期を過ぎた器具は、万一の劣化によるトラブルを考慮して、早めの点検や交換をおすすめします。

● 器具本体は8～10年での交換が目安です。

器具の種類		適正交換時期	耐用の限度
誘導灯 非常灯	電池内蔵形	8～10年	12年
	電源別置形	8～10年	15年
	専用形	8～10年	15年

※専用形とは電池内蔵形器具で、常時消灯・非常時点灯の器具を指します。
(社)日本照明器具工業会ガイド108-2003

● 誘導灯の場合 認定マークの色で、交換時期の目安がわかります。

認定マークの色	製造年月日	交換の緊急度	対策
緑色	1975年2月～1982年3月		耐用限度を超えておりますので、器具交換してください。 念入りに点検し、不具合が見つければ器具交換してください。 点検し、不具合が見つければ部品交換、器具交換してください。
黒色	1982年4月～1989年3月		
赤色	1989年4月～1996年3月		
青色	1996年4月～2002年3月		
青色	2001年10月～2005年8月		
緑色	2005年2月～		

● 非常灯の場合

器具の銘板にて製造時期をご確認ください。
わからない場合は、付近の誘導灯の製造時期を目安にさせていただくことをおすすめします。

【交換部品の寿命】

ランプの寿命

ランプの交換時期は、それぞれ使用するランプの点灯時間により判断する必要があります。使用するランプの交換の目安は右の表によります。

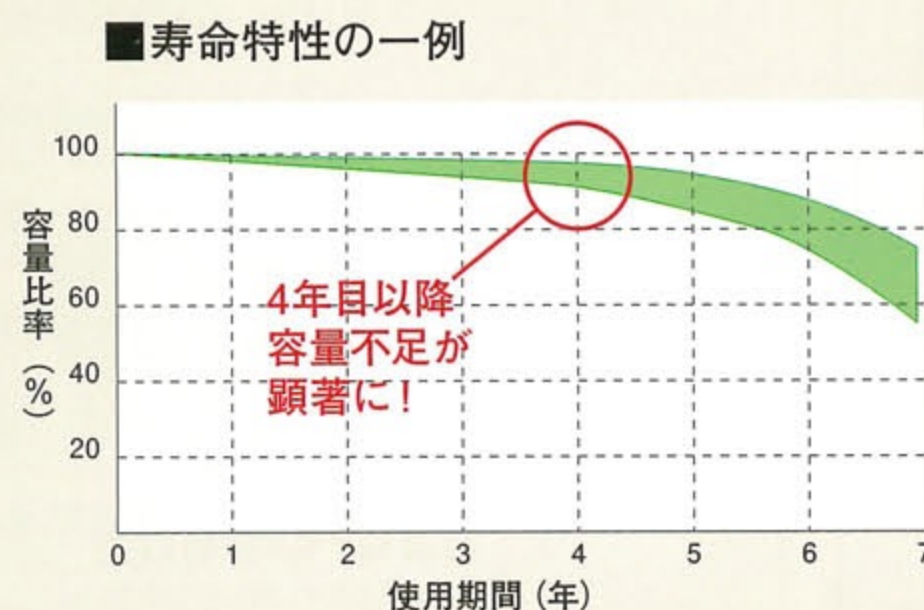
注) 24時間連続点灯の場合

使用するランプ	交換時期の目安
直管形蛍光ランプ	1年～2年
コンパクト形蛍光ランプ	約半年～1年
冷陰極ランプ	約3年～6年
LED光源	メーカーの公表値による

バッテリー寿命

交換時期の目安4～6年

バッテリーには寿命があります。
点検時に規定の時間、非常点灯しないバッテリーは速やかに交換してください。



寿命末期のバッテリー例

JIL適合

製造事業者登録番号
(誘) L75-〇〇N
(非) SC01-〇〇

交換バッテリーはメーカー指定のJIL適合マーク付のものをお使いください。

誘導灯表示板の寿命

交換時期の目安6～10年

表示板は設置時と比較すると表示面が汚れて視認性が低下することがあります。適正なメンテナンスをおすすめします。また、表示板は使用中に変色して劣化することがありますので、速やかな交換をお願いします。



正常な表示板



劣化した表示板の例